

佐賀市老人クラブ連合会

女性部だより

6号

令和2年

10月22日

佐賀市老人クラブ連合会



女性部長
高津 万亀代

この度の佐賀市老連総会に於いて、女性部長及び佐賀市老連副会長の重責を拝命しました。

先輩であります、前任者久野絹子前女性部長の後を受け女性部長・佐賀市老連副会長重責であります。精一杯私なりに積極的に対応していきたいと思っております。これには、各校区老連の女性部長様や、女性会員の皆様方の御協力によって成立するものと考えていますので宜しくお願いします。

佐賀市老連女性リーダー研修会

令和2年10月16日(金)マリタール創世にて令和2年度の佐賀市老連女性リーダー研修会が開催されました。6班に分かれての討議・発表がありましたので報告します。
討議内容



1班 司会進行
田中 富枝 記
録 田中 富枝
発表 田中 富枝

循環誘・・・女性部長や役員になり手がほとんどないので、順番で女性部長になりました。

いご手玉・ゲートボールの後、お昼にお赤飯とタオルを配布していたが、今年タオルを会員だけに配布した。勸興・・・支部長がいろいろな計画を立てているところは活発な活動われている。

大和・・・ロザリオやおん訪問をしている。
いきいき体操をしたり、おしゃべりだけでも参加してもらおうようにしている。
一人暮らしのひとには特に、誘っている。

神野・・・家の近くの人には声かけだけでなくもしている。入院や入所している人でも、まだ続けてもらっている。新会員
勧誘は何回も声かけをしているがなかなか入会してもらえない。また、老

人が少なく、新会員が増えない。兵庫・・・支部によっては入会は違いますが、私の場合は先輩の方が若い人に何回も何回も声かけして頂いて今年3人の女性が入会してもらいました。

女性部の活動としてはなかなか時間が取れずにおりますが、今年帽子づくりを単位クラブで実行してみようと思っております。旅行も史跡探訪もコロナでできなくて残念です。

西与賀・・・会員増強の取り組みでは私自身のことですが、65歳ごろ「老人会に入会してください」とお誘いがありました。まだまだいやだなと思っただけで断ってしまいました。67歳になった時、また、お誘いがあり、今度は役員をする順番だと聞き、入会しました。私たちの地区では順番で役員をするというのが定着していますので、それにならって入会しました。

女性部の活動としては、公民館にての落雁づくりや交通安全期間中に配布するマスコットを会長さんの家で教えてもらい作成しました。
諸富・・・今年は何もできませんでした。おばあちゃんの発表会は、いつも2月に行っておりです。大体一年前から踊りの稽古をして頑張っており

ますが、今年はコロナでできるかどうか。できればぜひやりたいです。会員増強・・・自治会の役員を終わった5人ほどに、お声かけして入会してもらいました。

実行するのは大変ですけど、年に一回女性部研修会を開催して頂き各地での活動状況などを話し合い、自分の地区に戻ってから「何かやってみよう」という気になりました。



2班 司会進行 時
尾 久美子 記録
峯・右近 発表
徳永 美津子

会員増強について

本庄・・・溝口地区永瀬さんは2年前に、各個人に訪問し入会を勧めた。累計30名ぐらゐの新規加入ができた。
三瀬・・・豆田さんは70歳ぐらゐで加入した。

鍋島・・・峯さん(角目地区)年になつたら加入を勧める。声かけをする。グループの参加を勧める。
高木瀬・・・富永さんは老人クラブを立ち上げて役を担う
嘉瀬・・・右近さんは65歳になつた

ら加入を勧める。

西川副・・70歳ぐらいの方に入会を勧める。

南川副・・徳永さんは入会を勧めるも家族が入っているので入会ならず。

女性部の活動について

①小学校との昔遊び・しめ縄作り・野菜作り：一年生と一緒に遊ぶ・いも苗づくり

花づくりは、地域の公民館・小学校・ロードなどで。

②グループ活動

小物づくり・ここにこ体操・ふれあいサロンを開催している。

演芸の準備：衣装を作ったり小物を作って触れ合った。

地区ヘルパー：見守り活動で地域の絆を強める。年3回の研修会は楽しい収穫。

交通安全の見守り活動

90歳以上の人に年賀状を出す。



会員増強について

3班 司会進行
枝吉 千年世
記録 小川 明
子 発表 園
田 キヌエ

①声かけ 入会者より物故者が多い

②小さなグループの中で誘ってもらう。親しい人から誘われたら入りやすい。

③呼び名だけを変更する。

④楽しみを伝える。

⑤入会する年齢がネック。また、入会したら何の利があるか

⑥月一回の例会後、歌を歌ってすごす。(男性も)

⑦男性の入会者がなかなか少ない

⑧高齢化しているので活動できない人が多い。(農村地区)

⑨費会員も多い

⑩会員バッチをつけて意識を高める

⑪会員増のチラシを配布

⑫魅力ある行事をおこし、楽しいことを見つけ出す。(歴史探訪・三社参り・旅行など)

⑬週一回でもダンスで体を動かすと楽しい。

私たちの老連での女性部の活動について

①コロナ対策の為女性部でもらった励ましの言葉と同時に配布された小物を皆さんに配った。

②女性部会員のポストに配布した。

③ヘルパー活動で声かけ

④90歳以上に年賀状を出す

⑤女性部で料理教室

⑥男女一緒に公民館の掃除、ボランティア、町協、自治会に協力する。

⑦例会の度に楽しい弁当がある。

⑧コロナでなかなか集まれないが、お便りを続ける。福祉部のヘルパーに力を入れる。

⑨当番制で会場づくり・お茶・その他を準備する。

⑩見守り、登下校でのあいさつ

⑪小物を会員さんで作る

⑫ペタンク大会を開きたい

⑬レクダンスを続けている。

⑭サロンを午前中に開き、引き続いて親睦旅行を11月に予定している。



4班 司会進行
酒井 トシ子
記録 発表
福岡 緑

・大和地区グラウンドゴルフ大会：龍登園杯・イオン杯・ヤマト酒蔵杯

・親睦・・・旅行年1回・元氣アップ教室・新年会・忘年会・ふれあいサロン

・青パト乗車での巡回(金立・大和)

・シルバー運動会(歩行困難な方は車椅子で参加できるように協力者あり)

・おばあちゃんの発表会：手作りの小物、バザー

・10月コスモスが咲くころ、葉隠れの里祭り(踊りの稽古)

・登下校の見守り・小学生とのふれあい(昔遊び)

・エヒメアヤメ祭り(草刈り)・・・久保泉



5班 司会進行
川副 明子
記録 発表
江頭 映子

会員増強の取り組みについて

まず、老人が心地よいところである事。仲間作りが大切・役員をやってみると友人が増える。いろんな人と触れ合うと魅力が出てくる。仲間が増え、

老人会会員も増し、仲間作りが自然とできるきっかけになると思う。

サロンを利用し声かけ、自治会未加入（65歳以上に自治会長より声かけする）。老人会を充実させ、多くの会員が楽しく行事に参加するように勧め

る。

三瀬地区は65歳になったら加入するものと思われているのでほとんどの方が加入している。また、地域によつては未加入の方も何人かいるので友愛ボランティアヘルパーさんから加入を勧めよう。また、クラブの活動内容について話したり、チラシを使って知らせる。年三回の花いっぱい運動やグラウンドゴルフ大会など、人のお世話をする事によつて自分も元気になることを話す。

部落での老人会に入会しても部落の人達の受け入れがあまりよくなく、今後の入会も大変だと思ふ。入会者の人達にもう少し受け入れを浴してもらいたい。

健康について

いきいき体操は老人会で取り入れ

て100歳時代を寝たきりゼロを目指す。筋肉の低下を改善して維持し、転倒

いきいき体操を覚える能力で脳トレにもなる。フレイル予防にもなる。佐賀は全面的に遅れているため、しっかりと普及する必要がある。

今回の女性リーダー研修会のテーマにして普及に努めてほしい。

この件は健康福祉が主になって、みんな勉強して必要性を徹底的に取り組むこと。

私たちの老連での女性部の活動

嘉瀬・今年は新型コロナで中止が多かった。

年6回の誕生会・6回の道路などごみ拾い・フラワーロードの草取り、花植え等毎月当番で行っている。

新栄・小学校バザーの協力として老人会全員で大根づくりから漬物づくり、販売まで半年かけて行っている。

三瀬・料理教室を食改の指導で行い、パークゴルフを小学生交流で行い、研修旅行も年一回、毎月健康づくり教室を公民館の体協指導で行っている。

西川副・コロナで中止の為、公民館の花植え、成人学級などに参加した。

鍋島・研修会年三回終了後食事会毎週4回話を聞いたり、小物づくり、歌を歌う。

花づくりとして草取り、花植えを

する。

スポーツとして、いご手玉(地区対抗)、小学校へ雑巾寄贈、カフェの手伝いをする。

高木瀬・毎週金曜日昼から健康のため身体を動かし、口の運動としておしゃべり海をする。

若楠・運動としてグラウンドゴルフ

フ・いご手玉・ポッチャをする。

おたつしや本舗年二回出前講座、年一回防災訓練をする。

西与賀・公民館・老人会共催による引きこもり対策事業として「おたつしやクラブ女性の会」で「シニア料理教室300」を年6回行っている。料理教室、味噌づくりを行い食事後、イベント・ゲームを行う。今年「落雁づくり」を「A」の方の協力を得て行った。

また、交通安全週間には事故防止「帽子」を作り町区の方に配布しました。

南川副・いもづくり(児童館)、交通安全見守り(朝7時20分〜8時)芋ほり、小学生との餅づくり、しめ縄作りを行っている。

本庄・健康マージャン、童謡の会、男性料理教室はコロナの為公民館が許可してくれずすべて中止した。



6班 司会進行
村山 栄美子
記録 大坪 美
代子 発表
大坪 美代子

今後、老人クラブの会員を増強するために、まず、老人クラブがなぜ減少しているかを考えました。

各地区の単老の取り組みを聞いたうえで「老人クラブの会員減少」について下記の通りまとめてみました。

(老人クラブが減少する原因)

①サロンと老人クラブの協力体制ができていない

②老人クラブは市から補助金が来ても負担金を出さなければならぬため、その差額の方で運営しなければならぬので大変である。

③役員のなり手が少なくて運営が難しい。

④サロンの報告書は簡単なのに、老人クラブの報告書は縛りが多くて予算執行が難しい。

ふれあいサロンは事務局から説明があった通り、独居老人や老人世帯を対象とすべきところだが、私たちのチームではほとんどが健康老人が対象



佐賀市老連 木下 治紀会長
あいさつ

者となっており中には老人クラブ会
員に対してサロンは「おしゃべり会」
だから、何も会費は必要ないと言っ
て勧誘しているところもある。
(老人クラブとふれあいサロンがお
互い協力しあっていくためには)
老人クラブ会員がふれあいサロンを
立ち上げて、サロンは対象者を本来の
形で持つていくべきだと思う。
チームの中には両方がうまく運営
しているところもありましたが、殆ど
が対立があるなどしてうまくいっ
てない。



佐賀市老連正副会長
役員も研修会に参加



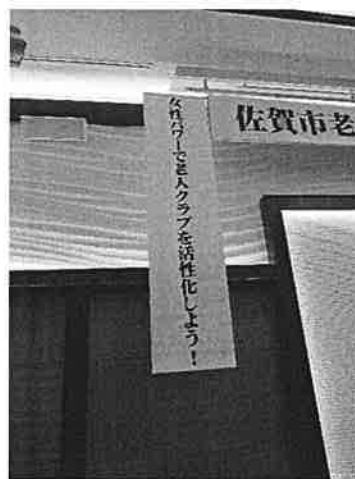
「心と身体の健康講座」
講師の立川 恵子氏講演



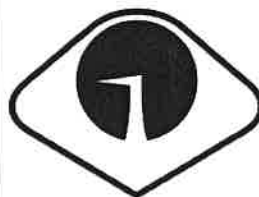
佐賀市老連 女性部長
高津 万亀代 あいさつ



6つの班に分かれての真剣な討議
がなされました



**老人クラブ会員バッチを着用しまし
よう**
**老人クラブ会員の証、仲間の輪、地
域の輪を広める**



老人クラブ会員
バッチ



研修会の最後には高津女性部長に
よる講評がなされた